

1 題材名 いろいろな音を楽しもう

2 題材の目標

- 打楽器の音色や擬声語に興味・関心をもち、音色の違いを感じ取りながら音楽を聴いたり、表現したりする学習に進んで取り組む。(音楽への関心・意欲・態度)
- 音の出し方や楽器の組み合わせをいろいろ試しながら、どのように表現するかについて、自分の思いをもっている。(音楽表現の創意工夫)
- 打楽器の音色の違いを感じ取り、選んだリズムで問いと答えになるように演奏の仕方を工夫して音楽をつくったり、歌詞から情景を思い浮かべ、その曲に合う歌声で歌ったりする。(音楽表現の技能)
- いろいろな打楽器の音色を聴き取り、その働きが生み出す面白さや演奏のよさを味わって聴く。(鑑賞の能力)

3 主な〔共通事項〕 音色，拍，リズム，問いと答え

4 題材の設定意図

本題材は、小学校学習指導要領（平成20年3月告示）A表現（3）ア、イ、B鑑賞（1）イの内容である。

本学級の児童は、どの教科において意欲的に活動できる。「もっとできるようになりたい。」「テストでいい点を取りたい。」「なんでもやってみたい。」と前向きな気持ちをもっている児童が多い。しかし、いざ難しい課題に直面すると、自信をなくし活動が停滞してしまう時がある。音楽の学習においても、「いろいろな曲を歌ってみたい。」「楽器を演奏してみたい。」と意欲は高い。音楽の授業で「どんな時に楽しいと感じるか。」と尋ねると「間違えずにできたとき。」が一番多く、次は「みんなと音が合ったとき。」であった。このことから、みんなと一緒に音を合わせることに楽しさを感じてはいるものの、曲に対して「こんなふうに歌ってみたい。」や「こんな感じで演奏したい。」など、自分の思いや意図まで意識して表現することは不十分であることが分かった。

本題材の指導に当たっては、「音楽づくり」において、アクティブ・ラーニングを取り入れ、友達と関わり合いながら、言語と音や音楽を媒体に思考・判断することを繰り返し、これまでの知識・技能・経験を活用する重要な過程を経験することで、自分を見つめ、自分らしさを表現できると考える。アクティブ・ラーニングの手立てとして、まず学習課題の工夫や協働的な学びの設定、そして自己評価や学習状況の振り返りの活動を実践する。「音楽づくり」は、自分のつくった音楽を友達に紹介したり、自分とは違う音楽を認めたり、他者と関わる場面が多くある。そのなかで他者を認めたり、相手を思いやったりする経験を重ね、それがやがて自分を表現することに対し、安心感をもち、これからの音楽活動の自信につながると考える。

以上のように、「音楽づくり」でのアクティブ・ラーニングを通して、自信をもって自分らしさを発揮し、自分の思いや意図をもって表現することが、これからの音楽活動をよりよいものにできると考え本題材を設定した。

5 教材について

- ・「だがつきパーティー」 長谷部 匡俊 作曲
- ・「かぼちゃ」 桑原 ほなみ作詞／黒澤 吉徳 作曲
- ・「虫のこえ」 文部省唱歌

6 題材の指導計画と評価（8時間扱い）

次	時	学習活動	関	創	技	鑑	評価規準（方法）
1	1	いろいろな音の中から好きな音を探す。 【だがつきパーティー】 （鑑賞）	○			○	・打楽器の音色に気を付けて音楽を聴く学習に進んで取り組んでいる。 （表情観察・発言内容） ・打楽器の音色を聴き、音色の違いに気付いて聴いている。（発言内容・ワーク）
2	2 ③	楽器の音の組み合わせを楽しむ。 【がっきでおなはし】	○		○		・打楽器の音色に興味・関心をもち、音を探す学習に進んで取り組んでいる。 （行動観察） ・音色の違いやリズムの組み合わせによって生まれる面白さを感じ取って、問いと答えの仕方を工夫している。（行動観察） ・打楽器の音色の違いを生かして、自分の思いを楽器で表現している。 （演奏聴取）
3	4 5 6	いろいろな音を重ねて楽しむ。 【かぼちゃ】	○		○		・楽曲の面白さを感じ取り、リズム打ちをする学習に進んで取り組んでいる。 （行動観察） ・音の出し方や組み合わせを工夫し、どのように表現するか思いをもっている。 （行動観察） ・音の重なりを聴きながら、拍の流れを感じ取って演奏している。（演奏聴取）
4	7 8	いろいろな虫たちが鳴いている様子を思いうかべながら歌う。 【虫のこえ】	○			○	・擬声語に興味・関心をもち、情景を想像して歌う学習に進んで取り組んでいる。 （表情観察） ・情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌っている。（演奏聴取）

6 本時の指導


(1) 目標

選んだ打楽器とリズムを使って、友達と楽器で会話をしながら、自分の思いを表現している。

(2) 準備・資料

ウッドブロック、トライアングル、クラベス、タンブリン、小太鼓、大太鼓、リズムパターン表

(3) 学習の展開

学習活動・内容	指導上の留意点（・は支援，◎は評価）
<p>1 打楽器の名前を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウッドブロック・トライアングル</li> <li>・クラベス            ・タンブリン</li> <li>・小太鼓            ・大太鼓</li> </ul> <p>2 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がっきでお話クイズをしよう。</p> </div> <p>3 2人組で会話のパターンを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい話            ・急いでいる話</li> <li>・悲しい話            ・怒った話</li> <li>・のんびりな話        ・嬉しい話</li> </ul> <p>4 打楽器を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウッドブロック・トライアングル</li> <li>・クラベス            ・タンブリン</li> <li>・小太鼓            ・大太鼓</li> </ul> <p>5 リズムパターンを選ぶ。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>リズム</p> <p>ア 4 はく</p> <p>イ 4</p> <p>ウ 4</p> <p>エ 4</p> </div> <p>6 2人組で練習をする。</p> <p>7 4人グループでクイズを出し合う。</p> <p>8 全体の前でクイズを出す。</p> <p>9 本時のまとめをし，振り返りをする。</p>	<p>・前時に学習した打楽器の名前を確認しながら，もう一度音色の違いに気付かせる。</p> <p>・打楽器に演奏の仕方についても触れ，正しく演奏できるようにする。</p> <p>☆言葉は使わず，打楽器のみで会話ができることを実演し，自分達が考えたお話を当てることができるかというクイズを行うことで，学習意欲を高める。</p> <p>・どんな会話を表現したいかをペアで考え，6つの中から1つ選ぶ。</p> <p>・自分はどんな会話を表現したいか自分の思いを相手に伝えるように助言する。</p> <p>・選んだ会話にふさわしい打楽器を選ぶようにし，数が足りない時は調整する。</p> <p>・選んだ楽器の音を出して，音の出し方や打つ場所によっても音色が変化することを助言する。</p> <p>・リズムパターンを1つ選び，2回繰り返すように伝える。</p> <p>・速さの変化によっても会話の表現の違いが出ることを助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎音色の違いやリズムの組み合わせによって生まれる面白さを感じ取って，会話の仕方を工夫している。            (行動観察・演奏聴取)</p> </div> <p>☆お互いに聴き合い，何の話だったか当て，どんなところが分かりやすかったか伝える。また，アドバイスも伝えられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎打楽器の音色の違いを生かして，会話のリズムを演奏している。            (演奏聴取)</p> </div> <p>・全体の場で発表することで，友達の演奏の工夫を知ることができ，様々な表現方法があることに気付かせる。</p> <p>・音色やリズムの違いによって様々な表現ができることを伝える。</p> <p>☆本時の振り返りをし，次時の学習意欲を高める。</p>